

2003 年 3 月 18 日 日本平和委員会

日本平和委員会は、アメリカのブッシュ米大統領のイラク攻撃最後通告の演説と小泉首相の「支持」表明に対し、次のような抗議声明を発表しました。

全国の平和委員会は、アメリカ大使館と首相官邸に対する抗議を集中するとともに、宣伝行動や大使館・領事館抗議行動などを積極的に展開し、戦争を阻止する世論を広げましょう。

また、首都圏の皆さんは、日比谷野外音楽堂で開かれる「3・18 緊急中央集会 & デモ」に積極的に参加しましょう。

アメリカ大使館 FAX 03 - 3505 - 1862

首相官邸 FAX 03 - 3581 - 3883

WEB サイト投稿ページ <http://www.kantei.go.jp/forms/goiken.html>

アメリカのイラク攻撃最後通告と小泉首相の「支持」表明に断固抗議する

2003 年 3 月 18 日 日本平和委員会

一、 ブッシュ米大統領は本日、一方的にイラクのフセイン大統領に四十八時間以内に退去することを求め、そうしなければ武力行使を行うという、「最後通告」を行った。

これは、イラクによる攻撃も国連安保理決議もないなかで一方的武力攻撃を行うとの宣言であり、国連憲章を根本から踏みにじる侵略行為にほかならない。このような攻撃は断じて許されない。

ブッシュ大統領は、この攻撃が国連安保理決議 1441 にもとづいて認められるものだと強弁している。しかし、1441 決議は、イラクに対する全面的な査察を行うとともに、これに対するイラクの非協力があつた場合には、国連安保理が次の対処を決定するとし、各国が勝手に武力行使することを排除している。だからこそ、米英スペインは、安保理に対し武力行使容認決議を提出していたのである。

ところが、この決議が安保理の多数の支持を獲得できないと見るや、これらの諸国は 1441 決議を勝手に解釈し、安保理の承認もなく武力行使に突き進もうとしているのである。これは、自らも賛成して決めた決議をもないがしろにし、国連の上に自らを置く無法行為そのものである。

一、 国連ではこの間、査察活動についての報告が行われ、今後一定の期間査察活動を行えば、イラクの大量破壊兵器問題を平和的に解決することができる展望が示されてきた。多数の安保理国はじめ圧倒的多数の国連加盟国も、査察の継続・強化による平和的解決を求めてきた。ところが今回の米英などによるイラク攻撃は、こうした平和的解決の展望を一方的に断ち切り、戦争への道に突き進もうとする異常極まる暴挙である。

この背景には、自らを国連の上におき、自らが「脅威」とみなした相手には、一方的に先制攻撃をし政権を転覆してもかまわないとする、米ブッシュ政権の横暴・異常な先制攻撃戦略がある。これは、人類が二度の世界大戦の教訓の上に打ち立ててきた、国連憲章にもとづく世界の平和秩序を根底から破壊し、世界を戦争相手の無法地帯にする立場である。このような人類の歴史に逆行する無法な戦争を、断じて許すわけにはいかない。しかも、この戦争が行われれば、罪のない多数の民衆が犠牲になることは必至であり、中東と世界を報復の連鎖の危険に陥れることになる。

一、 このような無法で非人道的な戦争であるからこそ、世界の人々は未曾有の規模で反戦の声をあげ、圧倒的多数の各国政府もこの戦争に反対しつづけているのである。米英などの今回の立場は、こうした国際的な世論に背を向け、いっそう孤立を深めることにならざるをえない。日本でも八〇%を超す人々が武力行使に反対している。

ところが本日午後、日本の小泉首相はこれに対し「支持」を表明し、その理由としてブッシュ大統領の言い分をオウム返しすると共に、日米同盟の立場を強調した。ここには、「日米同盟」なるものが、どんな無法であってもアメリカに追随するという、異常で危険な「同盟」であることが示されている。このような「同盟」こそ日本を世界の孤児とし、国民の利益を損なうものと言わざるを得ない。

一、 私たちは、平和を求める世界の人々と力を合わせ、この無法な戦争をくいとめるために最後まで全力をあげることを表明する。そして米英などがただちに戦争への動きを中止し、国連による平和的解決のテーブルに戻ることを求めるものである。また、平和憲法を持つ日本政府が、無法な戦争に手を貸す恥ずべき態度を改め、武力行使に反対することを強く求めるものである。